様式第3号(第5条関係)

身体障害者診断書・意見書

総括表　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(　　　　　　　障害用)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | |  | 年　　月　　日生(　)歳 | | 男・女 |
| 住所 | | | | | |
| ①障害名(部位を明記) | | | | | |
| ② | 原因となった疾病・外傷名 | | | 交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災  疾病・先天性・その他(　　　　　　　) | |
| ③疾病・外傷発生年月日　　　　　　年　　月　　日・場所 | | | | | |
| ④参考となる経過・現症(エックス線写真及び検査所見を含む｡)  　　　　　　　　　　　　　　　　　障害固定又は障害確定(推定)　　　年　　月　　日 | | | | | |
| ⑤総合所見 | | | | | |
| ⑥将来の再認定の必要性　・要(再認定を要する時期　　年　　月)　　・不要  　再認定を「要」とした理由　1　治療等により改善の可能性あり　2　その他(　　　) | | | | | |
| ⑦その他参考となる合併症状 | | | | | |
| 上記のとおり診断します。併せて、以下の意見を付します  　　　　年　　月　　日  病院又は診療所の名称  所在地  診療担当科名　　　　　科　医師氏名　　　　　　　　　　印 | | | | | |
| 身体障害者福祉法第15条第3項の意見(障害程度等級についても、参考意見を記入すること｡)  　　　障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に  　　　　・該当する(　　　　級相当)  　　　　・該当しない | | | | | |
| (注)　1　「障害名」欄には、現在起こっている障害(両眼失明、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等)を、「原因となった疾病・外傷名」欄には、原因となった疾患等(角膜混濁、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭等)を、それぞれ記入すること。  　　　　2　障害区分や等級を決定するため、県又は県社会福祉審議会から改めて照会する場合がある。 | | | | | |

呼吸器の機能障害の状況及び所見

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1　身体計測  　　　身長　　　　　　㎝　　体重　　　　　　㎏  　2　活動能力の程度  　　ア　階段を人並みの速さで登れないが、ゆっくりなら登れる。  　　イ　階段をゆっくりでも登れないが、途中休みながらなら登れる。  　　ウ　人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。  　　エ　ゆっくりでも少し歩くと息切れがする。  　　オ　息苦しくて身の回りのこともできない。  　3　胸部エックス線写真所見(　　年　　月　　日)  　　ア　胸膜癒着(有〔軽度・中等度・高度〕・無)  　　イ　気　　　　化(有〔軽度・中等度・高度〕・無)  　　ウ　繊維化(有〔軽度・中等度・高度〕・無)  　　エ　不透明肺(有〔軽度・中等度・高度〕・無)  　　オ　胸郭変形(有〔軽度・中等度・高度〕・無)  　　カ　心・縦隔の変形(有〔軽度・中等度・高度〕・無)  胸部変形4cm  　4　換気機能(　　年　　月　　日)  　　ア　予測肺活量　　　　　　　　ml  　　イ　1秒量　　　　　　　　ml  　　ウ　予測肺活量1秒率　　　　　％(＝×100)  　　　(ア・ウについては、次のノモグラムを使用すること｡)  　5　動脈血ガス(　　年　　月　　日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ア　O2分圧 |  | | | | | ・ | | |  | Torr | | | | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |
| イ　CO2分圧 |  | | | | | ・ | | |  | Torr | | | | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |
| ウ　pH |  | ・ | | |  | | |  | | | | | | | | | | |
|  |  |  |  |
| エ　採血から分析までに時間を要した場合 | | | | | | | | | | |  | | | 時間 |  | | | 分 |
|  |  |  |  |  |  |
| オ　耳血を用いた場合(　　　　　　　　　　　　　　　)  　6　その他の臨床所見 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

|  |  |
| --- | --- |
| ノモグラム |  |
| ノモグラム20cm | |
| (注)　1　(A)と(C)とから、(B)上にBaldwinの予測式による予測肺活量が得られ、(B)と(D)とから(E)上に予測肺活量に対する1秒率が得られる。  　　　　2　(D)を1秒量の代わりに実測肺活量とすれば、(B)と(D)とから(E)上にパーセント肺活量が得られる。  　　　　3　(B)に実測肺活量を代入すれば、(B)と(D)とから(E)上に通常の1秒率が得られる。 | |